基本情報

科目名	教育原理
時間割コード	0440900501
ナンバリングコード	
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2024年度 第1学期
曜限	金 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	定方 太希
科目区分	卒業要件外の科目 要件外
必選区分	選択

担当教員情報

教員名
定方 太希

詳細情報

授業の目的・到達目標	教育の基本的概念、教育の歴史に関する基礎的知識、教育に関する様々な思想を理解し、教育を成り立たせる諸要因、過去から現代に至るまでの多様な教育の理念について説明できるようになる。
履修上の注意事項	・授業には参加的態度で臨むこと。参考文献を一読してから、授業に臨むことが望ましい。 ・その他、授業外でも教育にかかわる情報をキャッチする鋭敏なアンテナを持ち合わせて欲しい。 ・授業中に調べ学習やディスカッションなどを通して課題に取り組み、発表を求められることがあるため、スマートフォン、タブレット、ノートパソコンなどの情報機器を持参すること。 ・授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合がある。
評価方法	学期末試験（70%）及び授業における小レポート（30%）を評価の対象とする。
テキスト	特に指定しない。適宜資料を配布する。
参考文献	勝山吉章編著『西洋の教育の歴史を知る：子どもと教師と学校をみつめて』あいり出版、2011年。 石村華代・軽部勝一郎編著『教育の歴史と思想』ミネルヴァ書房、2013年。 藤井千春編著『時代背景から読み解く西洋教育思想』ミネルヴァ書房、2016年。 苫野一徳『教育の力』講談社、2014年。 村井実『ペスタロッチとその時代』玉川大学、1986年。 押村他『ルソーとその時代』玉川大学、1987年。 小笠原道雄『フレーベルとその時代』玉川大学、1994年。 田浦武『デューイとその時代』玉川大学、1984年。 その他については適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業の有無	無
実務経験・実務経験を活かした教育内容	
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	授業内容に応じて、調べ学習、探究的な学び、ディスカッション、発表などを取り入れる。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス / 教育哲学とは何か	事前学修：シラバスを熟読する。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
2	教育の目的と本質	事前学修：自己の経験を基に、教育とは何かについてイメージしておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	教育と人間の発達 :ピアジェ	事前学修：人間の発達段階やピアジェの発達理論に関して調べておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
4	教育と人間の発達 :エリクソン	事前学修：エリクソンの発達理論に関して調べておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
5	教育の思想 :「子どもの発見」、ルソー、ペスタロッチ	事前学修：ルソーかペスタロッチの教育論のどちらか1つについて、参考文献を基にして調べておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
6	教育の思想 :フレーベル	事前学修：フレーベルの教育論について、参考文献を基にして調べておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
7	教育の思想 :デューイと新教育運動	事前学修：デューイの教育論について、参考文献を基にして調べておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
8	教育の思想 :デューイ教育論の影響と実践的展開	事前学修：デューイの教育論がアメリカや日本の教育に与えた影響について、参考文献を基にして調べておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
9	教育の歴史 :日本における近代学校教育の成立	事前学修：明治時代の社会情勢について調べておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
10	教育の歴史 :日本における大正新教育の思想	事前学修：大正時代の社会情勢について調べておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
11	教育の歴史 :日本における戦後教育の展開	事前学修：戦後日本の社会情勢について調べておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
12	現代の教育思想	事前学修：デューイ以後の現代の教育思想について調べる。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
13	現代社会における教育の課題	事前学修：現代社会の教育課題について調べておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	海外の教育の状況	事前学修：海外のオルタナティブスクールを1つ選び、調べる。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
15	総括と補足、その後の展望	事前学修：これまでの授業資料に目を通して、授業内容についての理解を深めておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	

基本情報

科目名	発達心理学
時間割コード	0440110301
ナンバリングコード	
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2024年度 第1学期
曜限	木 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	共通科目 人間と生活の理解
必選区分	選択

担当教員情報

教員名
水間 宗幸

詳細情報

授業の目的・到達目標	基本的な教養および対人専門職の基礎的位置づけとして発達心理を位置付け、これを学ぶことにより自己及び他者をひとつの人格として考えることができる。またそれぞれの発達段階の一般的特性を理解し、望ましい発達およびその支援を考えることができる。
履修上の注意事項	予習・復習を行うこと。特に、次回の講義で扱う内容について、必ず教科書を一読した上、分からない単語などを調べておくこと(2時間)。復習時には、ノートをまとめ、講義の中で扱われた理論やキーワードを自分のことばで説明できるようになっておくこと(2時間)。
評価方法	学んだことについて総合的な理解がどの程度できているか、レポートにて評価する(100%)。フィードバックについては希望者に対し個別でレポートのコメントを行う。
テキスト	『新・プリマーズ/保育/心理 発達心理学』 無藤隆・中坪史典・西山修編著 ミネルヴァ書房
参考文献	講義過程でも適宜紹介の予定
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	講義の内容に応じて、グループワークやグループディスカッションを取り入れる。講義資料および必要資料に関しては、Campus Squareにアップロードする。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	専門職として発達心理学を学ぶ意義～ガイダンス	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと(120分)。講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること(120分)。	
2	発達心理学の基礎理解～発達理論、発達段階、発達課題、発達と学習の関係	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと(120分)。講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること(120分)。	
3	乳幼児期の発達の特徴～人・モノとの出会い	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと(120分)。講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	愛着形成～親との関係性と子どもの行動	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
5	認知発達～子どもの遊びと社会性の広がり	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
6	ことばとコミュニケーションの発達	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
7	自己と情動の発達～感情発達が行動に与える影響	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
8	仲間関係とこころの理解	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
9	道徳性と向社会的行動の発達～集団の中で学ぶもの	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
10	児童期の発達の特徴～学校教育という環境と発達課題	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
11	学校のなかでの子ども～学びを支える指導の在り方	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
12	発達の多様性の理解～発達のつまづきや多様化する社会の中の子どもの困り感	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
13	思春期・青年期の発達の特徴とアイデンティティの形成	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
14	成人期から老年期の発達と課題	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
15	発達と学び～生涯学習と生涯発達支援	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	

基本情報

科目名	特別支援教育総論
時間割コード	0450421201
ナンバリングコード	A19019-L
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2024年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	卒業要件外の科目 要件外
必選区分	選択

担当教員情報

教員名
水間 宗幸

詳細情報

授業の目的・到達目標	特別支援教育の意義や目的を理解し、学習面、行動面などに困難を抱える子どもの理解を、発達心理的観点から理解し、それぞれの発達段階や特性に応じた教育および支援の在り方を考えることができる。
履修上の注意事項	予習・復習を行うこと。特に、今回の講義で扱う内容について、必ず教科書を読んでおき、復習時にはキーワードを自分のことばで説明できるようにしておくこと。 予習120分、復習120分を目安に行うこと。
評価方法	試験で評価する(100%)。なお試験のフィードバックについては、希望者に個別に口頭で評価内容を伝える。
テキスト	「すべての子どもに寄り添う特別支援教育」村上香奈・中村晋 編著、ミネルヴァ書房、2023
参考文献	「発達障害の子どもたち」(2007)、「発達障害のいま」(2011)ともに杉山登志郎、講談社現代新書。その他、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	2011年12月より2024年の間、非常勤心理士として精神科病院で発達障害を持つ子ども及びその家族への発達支援のカウンセリングを行った。この経験から特に子どもの発達や学習で生じる困難さの分析、対応、介入の結果や展望(予後)、外部機関との連携、家族が抱える問題など具体的な事例を通して、教育者として必要な思考力・実践力を身に付けられるよう授業を展開していく。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	講義内容に応じてグループワーク、グループディスカッションを取り入れる。 必要な資料等はCampus Squareにアップロードする。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	特別支援教育の理念の理解	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと(120分)。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること(120分)。	
2	視覚障害・聴覚障害を知る	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと(120分)。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること(120分)。	
3	知的障害を知る	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと(120分)。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	肢体不自由・病弱を知る	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
5	自閉スペクトラム症を知る	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
6	注意欠如・多動症を知る	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
7	限局性学習症を知る	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
8	多文化を生きる子どもを知る	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
9	貧困を生きる子どもを知る	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
10	多様な性を生きる子どもを知る	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
11	教育課程の中の特別支援教育の理解	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
12	個別の支援を考える	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
13	特別支援教育に関わるアセスメント	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
14	虐待が発達に及ぼす影響の理解と支援	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
15	特別な教育ニーズを持つ子ども、保護者への心理的支援	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	

基本情報

科目名	教育課程論
時間割コード	0450421301
ナンバリングコード	A19019-L
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2024年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	定方 太希
科目区分	卒業要件外の科目 要件外
必選区分	選択

担当教員情報

教員名	
定方 太希	

詳細情報

授業の目的・到達目標	この授業では、学校での教育活動を計画し実践し評価していくための基礎的な知識や技能について学ぶとともに、教育課程を編成し、カリキュラムマネジメントを行っていくための実践的な能力を培うことを目的とする。 そのため、この授業では、以下のことを目標とする。 (1) 教育課程が有する役割や機能、並びに意義を理解し説明することができる。 (2) 教育課程編成の基本原則、ならびに学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解し説明することができる。 (3) 教育課程の基本原則や編成の方法を用いて、教育課程の編成を行うことができる。 これらの目標へと到達することで、基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養しつつ、課題を探究し問題を解決できる能力を身につけることを目指す。
履修上の注意事項	・ 授業には参加的態度で臨むこと。参考文献を一読してから、授業に臨むことが望ましい。 ・ その他、授業外でも教育にかかわる情報をキャッチする鋭敏なアンテナを持ち合わせて欲しい。 ・ 調べ学習やディスカッションなどを通して、課題に取り組み、発表を求める場合があるため、スマートフォン、タブレット、ノートパソコンなどの情報機器をもって参加すること。 ・ 授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合がある。
評価方法	小レポート(30%)および学期末試験(70%)の総合成績で評価する。
テキスト	特に指定しない。適宜資料を配布する。
参考文献	文部科学省『小学校学習指導要領』東洋館、2018年。 文部科学省『中学校学習指導要領』東洋館、2018年。 文部科学省『高等学校学習指導要領』東洋館、2019年。 西岡加名恵『教科と総合学習のカリキュラム設計』図書文化、2016年。 吉田武男監修、根津朋実編『教育課程』ミネルヴァ書房、2019年。 その他については適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業の有無	無
実務経験・実務経験を活かした教育内容	
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	授業内容に応じて、調べ学習、探究的な学び、ディスカッション、発表を取り入れる。

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス / 教育課程とは何か	事前学修：シラバスを熟読する。(2時間) 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。(2時間)	
2	教育課程の編成原理とその類型	事前学修：教育課程とカリキュラムの違いについて調べておく。(2時間) 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	隠れたカリキュラムの理解	事前学修：これまでの学校生活の経験を振り返り、日常生活とは異なる学校ならではの文化について調べる。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
4	教育課程の歴史的展開と教育方法	事前学修：教育課程と教育方法の関係について調べておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
5	日本における教育課程の歩み：戦前	事前学修：明治時代から昭和初期までの歴史的変遷について復習する。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
6	日本における教育課程の歩み：戦後	事前学修：戦後から現代までの歴史的変遷について復習する。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
7	学習指導要領の特徴と変遷（1）経験主義から系統主義、教育の現代化	事前学修：戦後教育がどのような理念に基づいて成立したのかについて調べておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
8	学習指導要領の特徴と変遷（2）「ゆとり教育」と新学力観	事前学修：「ゆとり教育」に関する学力論争について調べておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
9	学習指導要領の特徴と変遷（3）「脱ゆとり教育」、主体的・対話的で深い学び	事前学修：「脱ゆとり教育」へと移行した目的や社会背景について調べておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
10	教育課程の経営と評価	事前学修：これまでの学校生活の経験を振り返り、どのような評価が行われていたのかを調べておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
11	学習指導案の作成	事前学修：学習指導案の作成の過程について調べておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
12	学習指導案の相互検討	事前学修：前時の学習指導案について、どのような意図で作成したのかについて省察し、言語化して説明できるようにしておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
13	今日の教育課題と教育課程	事前学修：これまでの学校生活の経験を振り返り、今日の教育課程に関する課題を挙げる。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	スタートカリキュラムの編成	事前学修：授業内容に関して学習指導要領やその解説を読み込んでおく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
15	総括と補足、その後の展望	事前学修：これまでの授業資料に目を通して、授業内容についての理解を深めておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	